

佐世保工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	音楽
科目基礎情報					
科目番号	2M2530		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	機械工学科		対象学年	2	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	Tutti (教育出版社)、Music Navigation、配布プリント				
担当教員	伊藤 康博				
到達目標					
1. 歌唱による自己表現ができる。 2. 鑑賞によりイメージを文章にして表現できる。 3. 鑑賞の態度を身につけることができる。 4. 音楽を楽しむことができる。 5. 色々なジャンル・国々の音楽を受け入れることができる。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1 (到達目標 1, 2)	デュナーミク・アゴーギクを理解して、楽譜に忠実に歌う事ができる。	デュナーミク・アゴーギクを理解して歌う事ができる。	デュナーミク・アゴーギクを感じる事ができない。		
評価項目2 (到達目標 3)	長い曲でも集中して聴くことができ、感じる事を文章で表現する事ができる。	好みが分かれているが、感じる事を文章で表現する事ができる。	集中して鑑賞ができない。文章での表現ができない。		
評価項目3 (到達目標 4, 5)	元気よく歌い、感受性も高く、いかなる時代のどこの国の音楽も受け入れる事ができる。	いかなる時代のどこの国の音楽も受け入れる事ができる。	好みのはっきりと分かれ偏りがある。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	色々な国、色々なジャンルの音楽に触れる。				
授業の進め方・方法	予備知識：小、中学校での基礎 講義室：大講義室 授業形式：ピアノ、VHS、LD、DVD、CD等を使用 学生が用意するもの：教科書				
注意点	評価方法：歌唱試験(25%)、小テスト(ノート含む)(25%)、授業態度(50%)により評価し、60点以上を合格とする。 自己学習の指針：テキストを中心として、毎回授業の予習・復習に取り組むと同時に、普段から音楽に興味を持ち、鑑賞する機会を見つけてください。				
授業の属性・履修上の区分					
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	1週	音楽の基礎知識の確認(翼をください歌唱)	・音名・音符の確認と認識。 ・確認した音符等を楽譜上で理解を高める。		
	2週	「少年時代」歌唱、または合唱曲	・正しい音程で歌える。(斉唱) ・正しい表現ができる。(二部合唱)		
	3週	「オーケストラって何?」DVD鑑賞、合唱曲	・色々な楽器の名前を理解でき、色々な楽器の音色の違いを理解できる。		
	4週	「ミュージカル」鑑賞・オペラ座の怪人、合唱曲	ミュージカルの特徴を理解できる。		
	5週	「ミュージカル」鑑賞・オペラ座の怪人、合唱曲	ミュージカルの楽しみ方を理解できる。		
	6週	「ふるさと」・「オーソレ・ミヨ」歌唱、合唱曲	日本語とイタリア語の発音の違い、歌唱の違いを理解できる。		
	7週	イタリアオペラ鑑賞、合唱曲	ミュージカルとの違いを理解し、総合芸術を理解する。		
	8週	イタリアオペラ鑑賞、合唱曲	イタリアオペラを理解する。		
	9週	「オペラ」鑑賞・カルメン、合唱曲	国によって、作曲家によっての音楽の違いを理解する。		
	10週	「オペラ」鑑賞・カルメン、合唱曲	言葉の違いと表現の違いを理解する。		
	11週	Oh Happy Day歌唱	ジャズを理解する。		
	12週	「のぼら」歌唱(ドイツ語)	シューベルトとウェルナーの違いを理解する。		
	13週	「のぼら」歌唱(ドイツ語)	イタリア歌曲とドイツリートの特徴を理解できる。		
	14週	歌唱試験	歌唱力の確認する。		
	15週	前期復習	研究ノートを使用して理解度を確認する。		
	16週				
評価割合					

	歌唱試験	小テスト（ノート含む）	授業態度	合計
総合評価割合	25	25	50	100
基礎的能力	25	25	0	50
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	50	50